

「マーチング from ふくしま」ですが、
マーチング形式の演奏はありません。

イベント当日は福島駅東口の駅前広場から
どこにも移動しません。

福島市が生んだ大作作曲家古関裕而を中心にした
このイベント自体がマーチング(行進)の第二歩です。

目標とする行き先は…2020年東京オリンピックです。

1964年東京オリンピックは、

戦後日本の復興を世界に発信する一大イベントでした。

そして、その開会式選手入場は、実況の

「心も浮き立つような古関裕而作曲の

オリンピックマーチが鳴り響きます」を

第二声として幕が切られたことは

福島市民として誇るべきことです。

2020年の東京オリンピックにおいても、

3.11からの復興という視点は欠かせません。

新国立競技場にふたたび

「オリンピックマーチ」を鳴り響かせ、

ふくしまの元気・気概を世界に発信することを

具体的目標の一つとして、

ふくしまからのマーチングを開始します!!

マーチング from ふくしま

～古関メロディーが織りなす2020年への道～

イベントスケジュール

第1部 ミュージックイベント 10:30～

福島ハミングコール 10:30～
◆「高原列車は行く」ほか

福島商業高校吹奏楽部
& 陸上自衛隊第6音楽隊 11:00～
◆「スポーツショー行進曲」「オリンピックマーチ」ほか

第2部 トークイベント 13:30～

パネラー 福島市長 小林香氏
福島学院大学教授 三浦尚之氏
古関研究の第一人者 斎藤秀隆氏
ソーシャルメディア研究所代表 熊坂仁美氏
福島商工会議所青年部会長 佐藤昌彦氏

第3部 ライブイベント 14:30～

歌とトークの新感覚ライブユニット
喜多三(KITASAN)ライブ 14:30～
◆「長崎の鐘」ほか
◆作曲家古関裕而の楽曲を中心にライブを行ないます。



フード・ドリンク販売の
キッチンカーも登場!!

えきまえカフェでお楽しみください!

MARCHING MUSIC FES



作曲家・福島市名誉市民第一号
古関裕而氏
(1909-1989)

古関裕而(本名、古関勇治)は、明治42(1909)年福島市大町に生まれ、昭和5(1930)年9月に日本コロムビア(株)に作曲家として入社、以来、作曲活動を継続し、戦前においては「露営の歌」(昭和12:1937)、「暁に祈る」(昭和15:1940)等の歴史的作品を残したほか、戦後の荒廃した社会の中にあつては「とんがり帽子」「長崎の鐘」等未来へ希望を抱かせる明るい歌謡作品を発表し多くの人に愛唱されています。

さらに、菊田一夫氏とのコンビで昭和22(1947)年以降は放送作品に力をそそぎ、NHKラジオ・ドラマ「鐘の鳴る丘」「さくらんぼ大将」「君の名は」等の主題歌を発表し一世を風靡したことはあまりにも有名です。こうした数々の放送関係における業績により同28(1953)年NHK放送文化賞を受賞しました。また、昭和39(1964)年アジアで初めて開催されました東京オリンピックの選手入場行進曲「オリンピック・マーチ」を作曲しました。

作曲作品総数は、5,000曲にもおよび、スポーツ・ラジオドラマ・歌謡曲・演劇・校歌・社歌等、多岐にわたっています。こうした一連の功績によって昭和44(1969)年には紫綬褒章を受章しています。

また、昭和54(1979)年4月には福島市名誉市民第一号となり、その功績と榮譽をたたえられています。

福島市古関裕而記念館ホームページより